

### 夜光ダイヤル付新型4球ポータブルラジオ HP-302型発売

このたび日立製作所で画期的なデザインの高性能電池式4球ポータブルスーパーラジオを発売した。

すなわちこのセットは最新の設計技術で非常に小型化されており、流線型のスタイルにタータンチェックの明るい柔かな感じを十二分に生かした超近代的なデザインとなつている。新しい特長としてダイヤルとスイッチに夜光塗料が使用され、暗いところでも目盛が美しく輝いて操作が確実にできる。さらにこの塗料の色は昼間でもデザインとよくマッチして、新しい感覚を一段と引立たせている。また高感度な5段伸縮ロッドアンテナ付で整流器兼充電器（電灯線から電源をとつてB電池の代用、またはB電池の充電ができるもの）を使用する場合のために、電源コード引出口が設けてある。そのほか真空管は日立SF管を使用しているため、セーブスイッチの併用と相まって電池の消耗が少く、4球として最高の感度と明瞭度の高い音質を誇るすぐれたセットとなつている。

セットに付属の高級ビニールケースは手提、ショルダー兼用でセットを入れたままでスイッチの開閉、音量調節、同調およびイヤホーンの切換などすべて自由に操作ができる。またケースの前面が透明になつているので、セットの美しいデザインが生かされるとともに、同調ダ



第8図 夜光ダイヤル付新型4球ポータブルラジオ

イヤルが見易くなつている。また別に牛皮製の高級ケースも発売されている。

規 格	
回路方式	電池式4球スーパーヘテロダイナ
受信周波数	535~1,605 kc
使用真空管	1R5-SF, 1T4-SF 1U5-SF, 3S4-SF
出力	100mW
アンテナ	120mm フェリスティックアンテナ自蔵 5段伸縮ロッドアンテナ付
電 源	A電池 1.5V (UM-2A) 1個 B電池 67.5V (BL-045) 1個
スピーカ	2½吋 ダイナミックスピーカ
イヤホン	H-206 クリスタルイヤホン
外型寸法	巾175mm 高さ104mm 奥行50mm
重 量	800g (電池共)

### 編集後記

原子力という怪物が発見されて以来、人類は原水爆という怪物の暴力におびえながらも、その巨大なエネルギーを平和的方面に利用しようという夢を抱くようになった。ラジオアイソトープをトレーサーとして利用することは、この夢の実現に一步をすすめたものである。日立製作所では昭和電工との共同研究によつて、R.I.による水力発電所の流量測定に成功した。『ラジオアイソトープ利用による流速測定に関する二、三の実験』はこの研究報告の一部であるが、これが今後この方面の研究に有益な示唆を与えるであろうことは想像にかたくない。原子力平和利用という人類の壮大な夢に有効な一石が新しく投げられたことを、喜びと誇りにみちて報告する。

水車発電機にカプラン水車を使用すると、効率と発生

電力の点でフランス水車にまさること数等なので、最近では高落差のカプラン水車にたいする研究製作が非常に進歩をとげつつある。日立製作所は1955年中部電力嬬川第三発電所に落差55m、出力13,000kWのカプラン水車を製作納入して、本邦新記録として家目を集め、日本における高落差カプラン水車の発展に先鞭をつけたが、最近さらに関西電力殿山発電所の落差70m、出力17,000kWの水車を完成した。これは世界最高落差のカプラン水車で、これによつて日立製作所は世界における高落差カプラン水車製作の第一人者たる資格を獲得したといつても過言ではない。

一家一言には井上特許局長官の玉稿を頂くことができた。特許の立場から発せられたこの警告を前にして、我々は謙虚な気持でもう一度己れをふりかえる必要があるのではないだろうか。

### 日立評論 第39巻 第3号

昭和32年3月20日印刷 昭和32年3月25日発行

(毎月1回25日発行)

< 禁 無 断 転 載 >

定価 1部 100円 (送料12円)

© 1957 by Hitachi Hyoronsha

編集兼発行人  
印 刷 人  
印 刷 所  
発 行 所

鈴 木 万 吉  
本 間 博  
株式会社日立印刷所  
日 立 評 論 社

東京都千代田区丸の内1丁目4番地  
電話 千代田 (27) 0111, 0211, 0311  
振替口座 東京 71824番

取 次 店

株式会社 オーム社書店  
東京都千代田区神田錦町3丁目1番地  
振替口座 東京 20018番

広告取扱店

広 和 堂

東京都中央区新富町2丁目16番地

電話 築地 (55) 9028番